令和４（２０２２）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　（　06. 高野　）児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内　容	成 果 と 課 題
		（１）日常の自由遊び活動	随時													
子ども育成機能	基本活動	（２）遊びの教室														
		ドッチボールデー	1		7	2	5	1						15	ドッジボールクラブ開始前にドッジボール楽しむ。	今年度新たにドッジボールクラブを行うにあたって、ドッジボールをみんなで楽しみ、ドッジボールクラブ登録者増員。ドッジボールの楽しさを伝えていきたい。
		工作「ぶんぶんゴマを作ろう！！」	4		4	53	1	2	2	1				63	申込制。厚紙でぶんぶんゴマを作った。	工程表を分かりやすく張り出し、作業工程を少なくしたことで混乱なく取組めた。事前周知を帰りの会などでしていきたい。
		けん玉検定モシカメ記録会	16		6	219	2	3						230	申込制。けん玉検・モシカメ記録定を行う。	けん玉検定、モシカメ記録会を実施したことで、検定合格を目標に日々頑張る子どもたちが増えた。練習が実って合格することや記録更新することで、達成感を味わい、自己固定感を高めることができた。自由来館者への声掛け方法が検討必要。
		きりえ体験会	3		1	9								10	カッターの使い方や注意事項説明してからきりえの体験をする。	１年生ややったことのない子どもに、きりえの楽しさを伝えられた。自由来館者への周知方法検討していく。
		工作「プラバンをつくろう」	4		6	43	3	6						58	申込制。プラバンにイラストを描き、トースターで縮めて、リリアンを通してストラップを作る。	申込制で複数日取組んだので、申し込み日がわからない子の為に一覧を張り出す事で分かりやすかった。３日間では希望しても定員オーバーでできない子がいたため日数は検討していきたい。
		本のポップコンクール	5		4	13	3	4						24	絵本のポップコンクールに向けてポップ制作に取り組む。	絵本の楽しさを伝える良い機会となった。コンクールに応募して参加賞が貰える機会は、たくさんの子ども達に取り組んで貰える周知方法工夫する。
		かまぼこおとしであそぼう	2		5	18	4							27	かまぼこ落としのルールを知りかまぼこ落としを楽しむ。	自由来館者にもっと児童館ならでわの遊びを知ってもらう機会とした。かまぼこ落とし大会に向けて参加意欲増進に繋がった。
		干支のはりえ	4	1	12	48	13	1						75	申込制。お正月に向けて干支の寅の貼り絵を作る。	干支のはりえをゆっくり楽しめた。工程表を作りわかりやすくしたことで、どの学年もスムーズに仕上げる事ができた。関係機関へのプレゼント用も高学年が作ってくれた。今後も継続していきたい。
		こま検定	15		4	146	1	2						153	申込制。コマの検定を行う。	コマ検定を実施したことで、検定合格を目標に日々頑張る子どもたちが増えた。練習が実って合格することで、達成感を味わい、自己固定感を高めることができた。自由来館者への声掛け方法が検討必要。
		工作「作って回そう！フイルムケースごま」	1		11	5	3							19	申込制。フイルムケースでコマを作る。	手順を写真付きで掲示したことで、分かりやすかった。コマを回すコツを伝えるとすぐに回せた。高学年には簡単過ぎたので、地球と月の宇宙での動きが見られる仕様にも挑戦してもらう。実施日を１日でなく4,5日の期間を設けても良かったので、期間は検討していく。
		（３）行事活動														
		おかいものごっこ実行委員会	7			90	1	16						107	おかいものごっこに向けての取り組み	**お店当番の担当者決めや、当日のお店準備では１年生や買い物中の困った子のフォローをしてスムーズにお買い物が出来る様にした。今後も継続していきたい。**
		おかいものごっこ	4	1	10	246	3	13		1				274	おやつのおかいものをする。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限してお買い物してもらい、おやつ時に個々に買ったおやつを食べた。自由来館者にはおやつを持ち帰ってもらう。今後は感染状況を踏まえて、買って直ぐに食べられる工夫をしていきたい。
		たかのまつり実行委員会	4					14						14	たかのまつりに向けての取り組み	高学年のメンバーを募り、あそびコーナーを企画運営してもらった。コーナー準備段階から集中して取組めていた。今後も継続していきたい。
		マンカラ大会	1		1	24	3							28	申込制。リーグ戦後にトーナメント戦行う。	マンカラ大会を実施した事で、普段以上に集中してとりくめた。お互いに自然と頑張りを認め合えていた。グループ分けのくじ引きで時間がかかってしまったので、くじ引き方法検討していく。
		かまぼこおとし大会	1		11	11	2							24	申込制。３人1組でリーグ戦後にトーナメント戦行う。	今年度は当日の抽選でチームメンバーを決めた。事前申し込みが少なく当日の学童クラブの子ども達に声掛けして行う。異年齢の交流ができ、お互い助け合ってかまぼこ落としを楽しめた。試合中の待機場所や説明時の子ども達の集中力を持続させる工夫をしていきたい。
		（４）クラブ活動														
		たっきゅうクラブ	21				63		5					68	随時登録制。小学4年生以上対象。友だちと卓球を楽しむ。	部活休みの中学生が卓球を楽しみに来館して参加するケースもあった。参加メンバーによっては見守りが必要だった。今後は4年生に声をかけて継続的な参加に繋げたい。
		きりえクラブ	43		126	54	30		1	4				215	随時登録制。カッターを使って、基本、初級、中級、上級の順番に様々な絵柄を作成する。	1年生はきりえ体験会後の参加。きりえクラブを目指して来る自由来館者もあった。午前、午後と出来る限り交互に実施したかったが、他の行事や取り組みとの兼ね合いで、どちらか一方が続いてしまう事も多かった。子どもの意欲が続くように、絵柄や選び等、工夫していきたい。
		しょうぎ教室	11		8	40	2						6	56	小学2年生以上対象。1年間の登録制。左京老人福祉センター将棋同好会の方がボランティアとして指導してくれている。	以前にボランティア本人より高齢のため参加が難しいと申し出があったが、今年度は出来る限り参加していただいた。年度途中ボランティアの方が体調不良。ボランティア後継者も見つからないので、今年度でしょうぎクラブは終了とし、今後しょうぎクラブの回数を増やしたい。
		しょうぎクラブ	10		12	62		1						75	随時登録制。将棋のルールを学び、将棋を楽しむ。	しょうぎ教室メンバー以外の子どもの参加が増えつつも定着しない子も多く、将棋教室への参加につながっていない。一般来館の子どもの参加もあり、騒がしくなる場面もあるが、しょうぎを楽しむ機会になっている。今後は初心者が参加しやすい内容も取り入れたい。
		ドッジボールクラブ	12		60	24	34	1						119	随時登録制。ドッジボールのルールを知り、ボールの投げ方、逃げ方などから学び、ドッジボールを楽しむ。	今年度から始まったクラブ。普段のあそびでドッジボールを楽しむ子も多いためクラブ化した。身体を動かして、ストレス発散することが出来たり、チームメンバーと協力する楽しさを感じてもらえた。今後も楽しくドッジボールをする上で必要なチームワークの大切さを伝えていきたい。ドッジボール交流大会にも繋げていきたい。
		（５）地域間交流活動														
		左京・東山児童館学童保育所まつり	1		15	13	4							32	左京、東山の児童館学童保育所が集まり、ステージ発表、工作、あそびのコーナーを実施。	午前中児童館を閉めて、参加者を事前募集し、新型コロナウイルス感染症対策の為公共の交通機関を使わずに、徒歩で参加。コーナー遊びや発表を楽しみ、他の児童館との交流もできた。徒歩での参加は初めてだったが、自然観察を行いながら楽しんで往復できた。今後も子ども達の体力を見ながら徒歩での参加を考えて行きたい。今回歩けた事は子ども達の自信に繋がった。
		京都子ども将棋交流大会	1		1		1							2	全市児童館・学童保育所との将棋大会	しょうぎクラブで出場者決めた。低学年１人高学年１人出場。高学年は２勝した。将棋の楽しさ、難しさを実感する。
		左京東山児童館・学童保育所交流ドッジボール大会	1		6	15	15							36	左京東山の児童館、学童保育所の子どもたちがドッジボールで交流を図る。	チャーターバスでの引率。他館所児童との交流で子どもたちも新鮮な気持ちで楽しむことができた
		（６）障害ある児童の居場所づくりと活動への参加促進														
		日常の来館	随時												自由あそび、行事への参加。	障害のある子どもたちの居場所になった。
		関係機関との連携	随時												京都市立養徳小学校、左京子どもはぐくみ室、京都市立養正保育所と連携。	随時、相談、見守りを行った。今後も連携したい。
		（７思春期児童の活動支援														
		中高生よっといDAY	12						3					3	中高生の居場所づくりとして実施。	卓球を楽しんでいた。定着させたいが、中学校におたよりを配布していないので周知が難しい。
		子ども相談・支援活動 子ども相談	随時												保護者から相談を受け、対応する。	今後も継続する。必要があれば関係機関に繋げていきたい。
		エコ活動														
		植木の水やり	21		1	23		4						28	左京合同福祉センター周りの植木の水やりをおこなう。	土曜日の時間を使って、学童クラブ児童を中心におこなう。子どもたちも意欲的に取り組んでいた。
		フードドライブ	6												食品を持ってきてもらう。	周知期間10月11日～15日、実施期間10月17日～22日。のぼりやチラシで利用者に周知。家庭で消費しきれない食品を多数提供してもらえた。今後も継続していきたい。
		京都市リユース事業	随時												東部まち美化と協力し、衣服のリユース事業の呼びかけを行う。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、引き取りを中止。
		合　　計	211	2	311	1158	193	68	11	6	0	0	6	1755		
	推進活動	（９地域を知る活動）														
		（１０）移動児童館活動														
		おひさま広場 （４，８、１２～２月はお休み）	5	21						16				37	乳幼児親子対象。自由参加制。下鴨学区の中川原公園で実施。自由あそびを中心に実施している。	児童館からジョイントマットやもおもちゃを持っていき、野外という条件でももゆったりあそべるように工夫した。近隣の小規模保育の子どもたちや、通りすがりでの参加が多い。実施回数は少ないが下鴨学区の乳幼児親子のあそび場として継続したい。
		中高生世代と赤ちゃんとの交流事業「助産師さんのお話&赤ちゃんとのふれあい・交流」「もこもこ広場土曜日VER」	1	5	1		2		2	5				15	助産師さんの命の話を聞き、幼児さんと実際に触れ合う。	生命の誕生の話を聞いたり、妊婦体験、胎児人形に触れ、その後に幼児さんとふれあい、一緒に遊んだり、抱っこ体験したり、これから自分が子育てするイメージができた。中学校へ周知する方法を検討していく。
		中高生世代と赤ちゃんとの交流事業「中学生と交流しよう」	1	18					26	17				61	乳幼児親子さんが中学校へ出向き、中学生と触れ合う。	高野中学生は授業として参加。事前準備として手作りおもちゃの用意や、読み聞かせの練習をしていた。乳幼児親子さんには幼児クラブなどで声かけして、たくさん参加してもらえた。コーナー遊びや質問タイムでお互いの理解を深める。事前準備の段階から中学校と連携していきたい。
		合　　計	7	44	1	0	2	0	28	38	0	0	0	113		
	子ども育成機能　合　計		218	46	312	1158	195	68	39	44	0	0	6	1868		

＊注　基本活動は，指針に基づき(２)遊びの教室活動(３)行事活動(４)クラブ活動(５)地域間交流促進活動(６)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(７)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は，指針に基づき(９)地域を知る活動(１０)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定児童館のみ別途報告すること。

令和４（２０２３）年度　児童館事業年間活動報告書　（　高野）児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども家庭支援活動	基本活動	（1）乳幼児とその保護者を対象とする活動														
		①乳幼児クラブ活動														
		チューリップクラブ（登録制） 火曜日・１歳３ヶ月以上の乳幼児親子	38	358						279				637	1年間の登録制。館内での設定あそびを中心に館外での活動も実施。保護者も主体的に参加できるようにグループ活動も取り入れている。	前半は１５組程の参加があったが、9月から幼稚園やこども園に入園するこがふえて来ている為、１０組以下の参加になってしっまってきている。年齢層も幅広く取組内容を考えながら行っていきたい。
		にこにこクラブ（随時登録制） 木曜日・０歳児親子対象	32	381						366			6	753	自由あそびを中心にふれあいあそび等を行っている。親同士の繋がりも持てるように、自己紹介の時間を作っている。	リピーターが多く、保護者同志の交流の場になった。自己紹介の時間では積極的に話してくれ、親同士の繋がり、子育て悩みや情報共有、交換の機会になっている。今後もふれあい遊びを充実させてリピーターの確保に努めたい。
		わいわいクラブ（随時登録制） 金曜日・乳幼児親子対象	33	236						222				458	自由あそびを中心にふれあいあそび等を行っている。	リピーターが多く、子どものあそび場、保護者同士の交流の場にもなった。ふれあいあそびや読み聞かせを楽しみにしている親子もいて、今後もプログラムを充実することで安心して遊べる場所を作っていきたい。
		②乳幼児の広場活動														
		おひさま広場	5	21						16				37	下鴨学区の中川原公園で実施。自由あそびを中心に体操や手あそび、読み聞かせ等を実施。	公園の遊具だけでなく、児童館からジョイントマットやもおもちゃを持っていき、野外という条件でもゆったりあそべるように工夫した。近隣の小規模保育の子どもたち、毎回参加してくれる親子、初参加組も多い。実施回数は少ないが下鴨学区の乳幼児親子のあそび場として継続していきたい。
		もこもこ広場	35	189						169				358	職員は入らず、おもちゃで自由に遊んでもらう。	参加者が増加。定着している。幼児クラブが苦手な親子の受け皿にもなっている。子どものあそび場、保護者にとっても交流の場になった。
		ピンポンパンランド	11	20						15				35	自由あそびを中心に、情報交換、親同士の繋がりの場として実施。	双子をもった乳幼児親子や多児妊娠の妊婦さんの参加もあり、交流することができ、その他のクラブへの参加にもつなげることができた。
		子育て講座 「はっ!!とする歯のはなし」	1	6						6				12	講師を招き、子育て支援の講義や実践的な企画を行う。	保護者の関心、ニーズの高い講座になっている。今後も利用している保護者のニーズを把握して内容の設定、開催をしていきたい。
		子育て講座 「チャイルドカット」	1	9						11				20	講師を招き、子育て支援の講義や実践的な企画を行う。	保護者の関心、ニーズの高い講座になっている。今後も利用している保護者のニーズを把握して内容の設定、開催をしていきたい。
		子育て講座 「離乳食相談会」	1	7						8			1	16	左京子どもはぐくみ室から栄養士を招き、離乳食についてのお話。個々に相談可能。	保護者の関心、ニーズの高い講座になっている。今後も利用している保護者のニーズを把握して内容の設定、開催をしていきたい。
		子育て講座「ベビーマッサージ」	1	10						10				20	講師を招き、子育て支援の講義や実践的な企画を行う。	保護者の関心、ニーズの高い講座になっている。今後も利用している保護者のニーズを把握して内容の設定、開催をしていきたい。
		子育て講座「きどっちとあそぼ」	1	9						9				18	講師を招き、子育て支援の講義や実践的な企画を行う。	元公立保育所保育士に講師を依頼。ジョイントマット1枚ごとに参加者1組ずつ座ってもらったことで参加者同士の距離も取れ、子どもたちも座る場所が決まっていることで集中することができた。親子であそぶ良い機会になった。
		子育て講座 「ママ・パパ歯科相談会」	1	5						4				9	左京保健福祉センターから歯科医師、歯科衛生士を招き、保護者を対象に歯科検診、歯科相談を行う。子どもの歯科相談も可能。	保護者を対象として実施。歯科医師1名、歯科衛生士3名が来てくださり、検診、検診結果表を1名ずつ作成してくれた。子どもがあそべる場所もあり、気兼ねなく検診を受けられた様子だった。子どもの歯科相談もできたことも好評だった。来年度も左京保健福祉センターと協力し、実施したい。
		子育て講座「ペーパークイリング」	1	3						3				6	講師を招き、子育て支援の講義や実践的な企画を行う。	託児保育付の講座として実施。子どもとはなれて作業に集中して取りくむことで、リフレッシュと気分転換になったと喜んでいた。託児保育の人材確保をはかりたい。
		子育て講座 「絵本の世界へようこそ」	1	14						14				28	講師を招き、子育て支援の講義や実践的な企画を行う。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、申込制（10組）、会場の配置等の工夫をし実施した。絵本専門店店主に講師を依頼した。今年度で一番、親子ともども反応が良かった。絵本の読み聞かせをふんだんに取り入れた内容で、保護者も子どもも最後まで飽きることなく聞いていた。
		養徳子育てサロン	4	45						40				85	養徳学区民生児童委員協議会が中心となり乳幼児親子対象のあそびの広場を開催。お誕生日会やお話タイムを設け交流を深める。	年4回開催。今年度より養徳学区民生児童委員協議会の主催で、養徳学区社会福祉協議会は共催となった。民生児童委員の皆さんが試行錯誤されて毎回行われたが、参加者も後半増える。
		下鴨サロン	8	50						49				99	下鴨学区の中川原公園で実施。自由あそびを中心に体操や手あそび、読み聞かせ等を実施。	下鴨会館での実施から建て替え予定により下鴨幼稚園での開催。密を避けるため、参加方法が申込制（10組）。10時～11時00分。児童館からはおもちゃ、消毒セットを持参し開催の協力を行った。児童館がメインでサポートを担う。地域住民から開催の要望が多く、地域に定着している。参加者が児童館の利用者と重なっており、下鴨学区の乳幼児親子の情報共有、連携の場にもなっている。今後も連携していきたい。
		図書の貸出（子育て中の保護者対象）	89												子育て中の保護者を対象に図書の貸し出しを行う。（ひとり3冊まで、貸出期間は2週間）	図書館にない本もあると好評で、図書の貸出だけでの利用者もある。知らない保護者もいるので、周知を図りたい。
		合　計	263	1363						1221			7	2591		

		(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受理及び相談経路	件数		相談内容	件数	つないだ機関等	件数
			乳児	20	児童館にて直接受理	47		健全育成問題		児童相談所	
			幼児	10	児童相談所			家庭養育問題		保健福祉センター	
			小1～3年（自由来館）		保健所			成長･発達問題	47	左京子どもはぐくみ室	5
			小1～3年（学童）	16	子ども支援センター			教育問題		幼稚園･保育園	
			小4～6年（自由来館）		主任児童委員			非行･問題行動		小学校	3
			小4～6年（学童）	1	その他			その他		中学校	
			中学生		{ }			{ }		総合支援学校	
			高校生							その他 { }	
			件数　計	47	－	47		－	47	－	8

		グループ名	構成人数	活動内容	育成・支援内容	成果と課題

推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活動内容	成果と課題
		子育て講座	7	①はっ！！とする歯のはなし～守りたい子どもの歯②はっ！！とする歯のはなし～守りたい子どもの歯③離乳食相談会④ベビーマッサージ⑤きどっちとあそぼ⑥ペーパークイリング⑦絵本の世界へようこそ	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、申込制、定員制（10組）で行った。実施してみて10組が多すぎず、少な過ぎずの調度良い定員だと感じた。毎年同じテーマで行うことで、今年度も楽しみにしていたとの声も聴けた。今後も保護者のニーズを取り入れ、子育ての参考になるもの、保護者自身がリフレッシュできる内容を取り入れたい。離乳食相談の回数を増やしたい。
		ママ・パパ歯科相談会	1	左京保健福祉センターから歯科医師、歯科衛生士を招き、保護者を対象に歯科検診、歯科相談を行う。子どもの歯科相談も可能。	保護者を対象として実施。歯科医師1名、歯科衛生士3名が来てくださり、検診、検診結果表を1名ずつ作成してくれた。子どもがあそべる場所もあり、気兼ねなく検診を受けられた様子だった。子どもの歯科相談もできたことも好評だった。来年度も左京保健福祉センターと協力し、実施したい。
		セーフティクラブ	1	下鴨警察署に依頼し、幼児クラブで交通安全について指導してもらう。	下鴨警察署からお巡りさんにきていただき、親子で交通安全について遊びを通じて体験することができた。
		エコ活動	随時	古紙回収ゴミとその他のゴミの分別を啓発し、土曜日には子どもたちと植え込みの水やりを行う。	今後も啓発に努め、水やりも継続していきたい。
		京都市家庭ゴミ優良指定袋無料引換券の引換	随時	ゴミ袋の配布と児童館事業の案内を行っている。	配布をきっかけに、児童館事業の参加につながった。
		子育て応援パスポートの配布	随時	子育てパスポートの配布を行っている。	配布をきっかけに、児童館事業の参加につながった。

※注　基本活動は，指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動［①乳幼児クラブ活動　②乳幼児の広場活動］（２）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和４（２０２２）年度　児童館事業年間活動報告書　（06.　高野）児童館

地域福祉促進機能

基本活動

(1)地域住民との交流を促進する活動

活動名	実施回数	主催	参加人数 乳幼児	小1～3年 自由来館	小1～3年 学童クラブ	小4～6年 自由来館	小4～6年 学童クラブ	中高生	大人	合計	連携団体	成果と課題
第16回左京中部親子ふれあい広場	1	左京区中部の児童館	67						69	136	左京中部の児童館/保育所/保育園/学区社会福祉協議会/民生児童委員協議会/左京保健福祉センター/左京子どもはぐくみ室	新型コロナウイルス感染症対策を講じての開催だった。左京中部の子育て支援に関わる機関が協力し、乳幼児親子があそび場を提供することができた。子育て支援の施設をPRする場にもなった。
養徳子育てサロン　年４回	4	養徳学区民生児童委員協議会	45						40	85	養徳学区社会福祉協議会	今年度はから養徳民生児童委員協議会の主催になった。年４回開催で利用者も増加傾向。今後も連携していく。
下鴨サロン　第4木曜日	8	下鴨学区社会福祉協議会 下鴨学区民生児童委員協議会	50						49	99	下鴨学区民生児童委員協議会、京都市立養正保育所	定着している。下鴨学区の乳幼児親子の情報共有、連携の場にもなっている。今後も連携していく。
たかのまつり	1	たかの児童館	37	10	64	11	2			124	高野児童館学童クラブ保護者会、養徳学区民生児童委員協議会	学童クラブ保護者会、養徳学区民生主任児童委員と協力し、地域住民に児童館ＰＲをする機会になった。今後も協力していきたい。コロナ渦で定員ありの２部制とした。
工作教室（多世代交流）	1	左京区老人福祉センター		13	6	5				24	京都工芸繊維大学 高野児童館	日頃関わりの少ない老人福祉センター利用者との交流が出来て良い機会となった。今後も他世代交流の機会を作っていきたい。
養徳学区地域子育てネットワーク会議	2								14	14	養徳学区地域子育てネットワーク会議委員(養徳学区社会福祉協議会会長/養徳学区民生主任児童委員/高野保育園/高野川保育園/鴨東幼稚園/左京子どもはぐくみ室)	今年度は年2回（6月、2月）開催。保育園の参加が難しい面や、会議の内容について手探りの状態で課題もあるが、養徳学区の子育て支援の施設が顔を合わせる貴重な機会であるため、今後も継続して続けていきたい。
左京保健福祉センター1歳6カ月検診時児童館PR活動	0	左京区の児童館									左京保健福祉センター/京都市養正保育所	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。再開時には協力したい。
合計	17		199	23	70	16	2	0	172	482		

(2)ボランティア活動の推進

活動内容	活動人数 中高生	大学生	大人	合計	成果と課題
佛教大学わんぱくグループ「どろんこ」		49		49	定着メンバーが少ない中、継続的に参加のメンバーもいた。コロナ渦で活動が休止していた時期があったもあってか、活動方針が定まっていない所もあったので、今後も活動を支えていきたい。
しょうぎ教室（指導ボランティア）			6	6	ボランティアの方の体調不良で今年度で活動休止となった。
にこにこクラブ（子育て相談ボランティア）			5	5	助産師さんのバンダーレさんが仕事の合間に来てもらえた。今後も継続していきたい。
合計	0	49	11	60	

(3)地域との連携を促進する活動

連携団体等	連携内容	成果と課題
左京保健福祉センター	おたより配布、子育て講座講師依頼、保護者対象歯科検診依頼	良い関係を築けている。今後も連携したい。
左京子どもはぐくみ室	おたより交換・設置、気になる子ども、家庭の相談、ネットワーク会議委員	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため保育士派遣依頼が出来なかった。今後も配慮が必要な親子の情報の共有、相談等、連携したい。
下鴨警察署	幼児クラブ交通安全教室　学童クラブ交通安全教室、防犯教室依頼	今年度は交通安全教室で指導にきていただく。今後も連携したい。
左京消防署	幼児クラブおでかけ、避難訓練依頼	今年度は消防署見学が実施でき、乳幼児親子が楽しめることができた。今後も連携したい。
京都市養徳小学校	じどうかんだより全校配布、気になる児童の相談、情報交換	配慮が必要な学童クラブ児童の相談等、少しずつ関係が築けてきている。今後も関係を深め連携していきたい。
京都市養徳小学校PTA	備品の貸出、行事の協力	今後も連携したい。
養徳学区民生児童委員協議会	おたより配布、子育てサロンの援助、ネットワーク会議委員	今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策をして、養徳子育てサロンを４回実施する事ができた。今後も連携したい。養徳子育てサロンの運営、役割分担について協議の場をもち、サロン活動のすすめ方について話し合いをした。
養徳学区社会福祉協議会	おたより配布、子育てサロンの援助、ネット―ワーク会議委員	
下鴨学区民生児童委員協議会	おたより配布、子育てサロンの援助	下鴨子育てサロンの協力や下鴨学区の親子の情報共有等、良い関係が築けている。今後も連携を深めたい。
下鴨学区社会福祉協議会	子育てサロンの援助等	良い関係が築けている。今後も連携を深めたい。
京都市立養正保育所	おたより交換、子育て養徳・下鴨子育てサロン協力、気になる子どもや家庭の相談や情報の共有、備品の貸出（太鼓）	これまでのような子育て講座等への保育士出張が厳しくなる中、配慮が必要な親子の情報共有や相談等、連携をとっていきたい。
高野川保育園	おたより配布、ネットワーク会議委員	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため連携する機会が少なかったが、今後も連携したい。
子どものその保育園	おたより配布	今後も連携したい。
高野保育園	おたより配布、ネットワーク会議委員、気になる児童の情報交換	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため連携する機会が少なかったが、気になる児童の情報交換は年度末におこなえた。今後も連携したい。
鴨東幼稚園	おたより配布、ネットワーク会議委員	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため連携する機会が少なかった。今後も連携したい。
左京区社会福祉協議会	おたより配布、評議委員会出席、行事の協力、支援が必要な家庭の相談	今後も連携していきたい。
左京老人デイサービスセンター	日々の連携	今年度は多世帯交流事業工作教室参加で交流する事ができた。今後も連携していきたい。
左京老人福祉センター	日々の連携	今年度は多世帯交流事業工作教室参加で交流する事ができた。今後も連携していきたい。
左京図書館	備品の貸出、日々の連携	今後も連携していきたい。
東部まち美化事務所	子ども服のリユース活動窓口	東部まち美化事務所と協力し、子ども服の回収を行っている。今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止ため実施しなかった。
高野第三住宅	じどうかんだよりポスター掲示	地域住民にじどうかんだよりを見てもらうきっかけになっている。今後も継続したい。
グレースたなか2号店（下鴨学区）	じどうかんだよりポスター掲示	下鴨学区住民にじどうかんだよりを見てもらえる機会になっている。今後も継続したい。
つどいの広場ほっこりはあと出町	おたより交換	今後も連携したい。
下鴨つどいの広場	おたより交換	今後も連携したい。

令和４（２０２２）年度　児童館事業年間活動報告書　（ 06. 高野 ）児童館

			組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
地域福祉促進機能	基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	高野児童館学童クラブ保護者会	高野児童館学童クラブ保護者会	4回	学童クラブ保護者会運営 児童館との共催行事についての相談等	児童館まつりや、親子行事の取組や保護者会からのサポートを受けての取組について相談しながらすすめることができた。今後も連携していきたい。
			養徳学区地域子育てネットワーク会議	養徳学区社会福祉協議会会長 養徳学区民生主任児童委員 高野保育園 高野川保育園 鴨東幼稚園 左京子どもはぐくみ室 高野児童館	2回	開催趣旨の説明 取組、状況報告等について	養徳学区の子育て支援の施設が顔を合わせる貴重な機会であるため、今後も継続して続けていきたい。
			養徳学区民生主任児童委員	養徳学区民生児童委員協議会	随時	子育てサロン開催の相談、協力等	情報交換等、連携することができた。今後も連携したい。
			下鴨学区民生主任児童委員	下鴨学区民生児童委員協議会	随時	子育てサロンの相談、協力等	
			スクールガードリーダー	スクールガードリーダー	随時	下館時安全見守り	
			左京区社会福祉協議会	左京区社会福祉協議会	随時	日々の連携	合同施設内の関係機関として今後も連携していきたい。

			会場提供・備品貸出等	使用目的	提供先（団体・機関等）	成果と課題
	推進活動	(5)地域への施設提供	太鼓4台、バチ（12月）	行事のため	京都市立養正保育所	新型コロナウイルス感染症のため、例年より少なかった。今後も連携していきたい。
			育成室	学童クラブ保護者会活動のため	学童クラブ保護者会	
			遊戯室	養徳子育てサロンのため	養徳学区民生児童委員協議会 養徳学区社会福祉協議会	

			調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
	推進活動	(6)地域調査活動	チューリップクラブに関する調査	次年度の参考のため	チューリップクラブ保護者	高野児童館	アンケート	利用者のニーズを知る機会になった。乳幼児親子にとってはアンケートをその場で書いてもらうことが難しい場面もあったので、持ち帰ってもらい、後日回収した。アンケートでの意見を反映して来年度に活かしたい。
			にこにこクラブに関する調査	次年度の参考のため	にこにこクラブ保護者	高野児童館	アンケート	
			子育て講座のアンケート	次年度の参考のため	子育て講座参加者	高野児童館	アンケート	
			利用者アンケート	児童館の運営や活動に活かすため	児童館利用者 （小学生・中高生・保護者）	京都市社会福祉協議会	アンケート	

令和４（２０２２）年度　児童館事業年間活動報告書　（　06. 高野　）児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	たかのじどうかんだより （小学生以上版）	月1回	小学生/乳幼児の保護者/児童館利用者/京都市養正保育所/左京保健福祉センター/左京子どもはぐくみ室/左京区社会福祉協議会/養徳･下鴨学区民生主任児童委員/養徳･下鴨学区地域住民/つどいの広場ほっこりはあと出町/下鴨つどいの広場/高野保育園/高野川保育園/子どものその保育園/鴨東幼稚園/養徳学区社会福祉協議会会長/養徳学区民生児童委員協議会会長/高野第三住宅/わんぱくグループ「どろんこ」	養徳小学校児童に全校配布 配布、掲示及びホームページに掲載	月々の活動内容等のお知らせ	養徳小学校への全校配布を実施。児童館の存在を知る機会になっている。今後も見やすく、魅力ある紙面作りを目指し、行事等の参加に繋がるように工夫したい。Ａ４サイズし、乳幼児親子向けの取組や行事は乳幼児親子版として分けて発行。
	たかのじどうかんだより （乳幼児親子版）	月1回	乳幼児の保護者/児童館利用者/京都市養正保育所/左京保健福祉センター/左京子どもはぐくみ室/左京区社会福祉協議会/養徳･下鴨学区民生主任児童委員/養徳･下鴨学区地域住民/つどいの広場ほっこりはあと出町/下鴨つどいの広場/高野保育園/高野川保育園/子どものその保育園/鴨東幼稚園/養徳学区社会福祉協議会会長/養徳学区民生児童委員協議会会長	配布、掲示及びホームページに掲載	月々の活動内容等のお知らせ	活動を知ってもらえ、行事の参加につながっている。問い合わせも多い。ホームページをみている利用者も増えている。ホームページではカラーで掲載できるため、カラフルに見やすい紙面作りを目指した。
	子育て講座掲示	年8回	乳幼児親子	配布、掲示	子育て講座の日時と内容のお知らせ	乳幼児クラブや広場時に配布したり、館内の乳幼児親子動線に掲示する事で多くの関心を持ってもらえた。より一層見やすい掲示物にしていきたい。
	児童館しおり	随時	児童館利用者	配布	児童館の概要、事業内容等の紹介	児童館の概要や事業を説明する資料となっている。
	チューリップクラブしおり	年1回	チューリップクラブ登録者	配布	幼児クラブの概要や年間計画等	幼児クラブの概要をまとめた資料として配布している。